

われもこう

第106号

2018年12月25日発行

高槻ライフケア協会

題字 伊関 トミエ さん



撮り鉄と私 「線路は続くよ…」

社会福祉士 マイケアプラン研究会員 佐竹 紀美子

私の夫は、もの心が付いたところからの鉄道好きで、86歳の今も、鉄道趣味に明け暮れしております。半世紀前、「結婚して鉄道趣味から遠のいていく仲間をたくさん見てきた」と言われましたが、何かを面白がる傾向のある私は、一緒に撮影旅行に行き、時には夫が行けないまたとない特別列車の撮影に、私一人で行ったこともあり、撮影旅行の半分くらいを同行してきました。しかし、だんだん鉄道趣味人の様子を見ていて、この世界だけでは、人間の幅が狭いのではないかと夫も気づき、また蒸気機関車が廃止になるということもあり、少しずつ、趣味の矛先を変え始めました。それで鉄道撮影は北海道の室蘭本線の「さようなら SL」を最後にやめると決め、実際その撮影を成功させて、きっぱり撮り鉄をやめました。

室蘭本線の最後の「さようなら SL」の撮影は失敗は許されず、下見も入念にし、前日から現地に入り撮影条件を考えながら、風向きはどうか(煙が邪魔になることがある)、

光線はどんな具合か、撮影者が大勢来たらどうするかなど、起こりうる事態を想定して準備にかりました。12月半ばで線路わきには雪がありましたが、もう少し雪がほしいと思い、吹き溜まりの雪をビニール風呂敷で何回も運び自然に見えるように撒きました。SLと雪はとても相性が良く、気温が低く煙や蒸気の出具合も絵になり、モノクロのコントラストも迫力があります。

時間がたつにつれ、撮り鉄たちが集まってきました。わたしたちはすでに場所を確保し、それより前に入る人には、そこはダメと言って先客優先を主張しながら待ちました。予定の時間になっても来る気配がなく、複線なのでほどなく対向列車が来ることになり、最悪目の前で行き交ったら事前の苦労は水の泡どころか卒業写真は撮れず、卒業できません。

ついに、近くの駅に到着したのがわかり、大きな汽笛を鳴らして煙を上げてきます。満員のお客、冬なのに窓から手を振って感

動している乗り鉄たちと、対峙する撮り鉄たちの緊張の一瞬。やや上り勾配なのと駅から発車したばかりの煙の状態は、風の具合もよく、対向車も来ず、美しい機関車をカメラに収めることができました。こうして撮った最後一枚は、きれいな作品を確信した、と同時に撮影趣味が終了した瞬間でもありました。夫は「いい写真が撮れた、これでホッとした。もう撮らなくてよい」と。

撮り鉄をやめた矛先は、大人の汽車ごっこという形になりました。所属のD大学鉄道同好会の30周年企画で、特別列車を仕立て、後ろに往年の展望車マイテ492を牽引させて走るという後輩たちの企画です。創部以前からの大先輩ということから、本人のたつての願いを聞いていただき、東海道線の名所山科の大カーブを走るときは、展望車に一人で乗せてもらい感無量で喜びをかみしめたそうです。

その楽しい懐かしい思いを、みんなで分かち合おうと、自分の退職記念貸し切り列車にお世話になった皆さんを招待し、好みの客車や機関車をつなぎ、マイテの展望車を楽しんでもらいました。(1989.10)

それがきっかけになり、大阪の障害者事業所を運営する友人から、グループホーム創設のアピールのために大阪発でやってみたいといわれ協力しました。沢山の障害者の皆さんやその支援の友の輪で列車は大変感動的な経験になり、後にグループホームができ、今や数ヶ所の施設を擁することになりました。

列車の名前は「トレランス号」です。これは、寛容という意味の英語ですが、鉄道趣味人は、2本のレールを走る、時間に間違

いなく走ってくる、線路のつなぎ目の音や走行音が心地よいなどから愛好する方もあり、それは、ひょっとして人間の幅が狭い、こだわりが強い、社会性がちょっと気になる、といった事にもつながるような気がしていました。

そのころ大昔の映画「イントランス」(不寛容)というとても面白い実験映画が、オーケストラや合唱、弁士が解説しながら上映され、それに感動してつけた名前でした。ちょっとした不寛容が世の中を悪くするといった、聖書の時代から今日までのエピソード4話をオムニバスで描いた作品で、「映画は愛であり世界の共通語」と。私たちのない物ねだりのネーミングです。

トレランス号は合計7回運行し、列車好きなのに乗る機会の少ない障害児さん中心にしたり、4回目にはチェルノブイリの被災の子どもたちを招待したり、ブルーシートの残る阪神淡路大震災被災地を通過したのを最後に、ピリオドを打ちました。

その後、撮影趣味は、中国の少数民族の旅になりました。ある時旅先で、中国人の私たちを見る様子が何かおかしいと気づき、訳が分からないまま、やっとTVの見えるホテルにつき、東日本大震災とフクシマ原発事故を知りました。帰国してから、刻々と報じられる惨状に何も知らずにのんきに旅をしていたことを恥じました。

それで、その夏から、「鉄道写真展—東北を忘れない」といった趣旨で今年3月11日まで計10回のアピールをしました。自分や後輩の写真だけでなく、現地の撮り鉄さんや、復興にかける皆さんの思い、福島から避難してこられた皆さんの思いも伝えまし

た。

そして、やっぱりみんなに東北を見てもらおうと思い、「トランス号8」を2017年6月に、「9」を今年6月に企画し、各30人で三陸鉄道南リアス線に乗り、被災地を訪問しました。撮り鉄を卒業しようといった社会的な活動につなげました。

最近同好の会があり、後輩が「鉄道介護士」をしたいと言われ、驚きました、心身状況の衰えの出た先輩たちを連れ出し聞き取り役をし、その足跡をきちんとホームページにアップしてあげたいと言われます。

大いに感激し、そのうちお世話になるのではないかと膨大な記録写真を前に喜んでいきます。

「総介護社会」、「人生100年時代」を迎え、介護が必要になっても、自分らしく生き切ろうと思う老老介護の私たちです。



(室蘭本線の最後のSLの写真は、福音館書店「たくさんのふしぎ傑作集・おじいちゃんのSLアルバム」に収録され、いまだに愛蔵版として売られているそうです。)



第2回 高槻市研究発表会

主催：高槻市介護保険事業者協議会

12月17日高槻市介護保険事業者協議会の高槻市研究発表会が高槻市総合センターで行われました。

これは協議会に所属している事業所が、日頃の取り組みや研究の成果を発表する場です。今回は9事業所が発表し、小規模多機能型居宅介護あすなろも参加しました。その発表の数々を聞こうと約80名の参加者が集まる中、やや緊張も見られましたが、質疑応答も含めた10分間の発表でした。「地域との交流を通して見た利用者の変化」というタイトルで、あすなろ利用者のAさんが、これまで培ってきた地域の友人達とともに楽しめる時間を持ちながら、交流から生まれる「生きがい」が活力になっていることを発表しました。これからも様々な取り組みを展開します。



事業所だより



～食事風景～

「おはよう！」と皆さんの元気な声で一日が始まります。入浴やマッサージ、皆さんで合唱などを行っているうちにすぐにお昼がやってきます。その中でも、台所から聞こえる調理の音。野菜を切る音、トントントン。煮物が煮える音、グツグツグツ。おかずの香りやご飯の炊ける香りを感じて「いい匂

いだよ。」「今日は何のご飯かなあ」「おイモの匂いがする」など香りと音の刺激で会話が弾みます。できあがった昼食を見て、「当たったあ。今日は肉じゃがやあ。ジャガイモ大好き。」と食欲旺盛です。大家族で食卓を囲んでいるような雰囲気です。「いただきます！」幸せな時間です。

通所介護

くらし創造の家 朋（とも）

小規模多機能型居宅介護



一大イベントの敬老会に“富田町健康を守る会・アップル”の皆さんに来ていただきました。ピアノに合わせて皆で「里の秋」などを歌ったり、歌体操をしました。この時、利用者さんは自然に体を動いていました。次は看護師による新舞踊です。ぱっちりメイクと衣装を身にまとい本格的な踊りに、目を丸くして見ている方や笑顔で見ている方、

普段とは違う表情を見せ、とても楽しい時間でした。それぞれの名前入りの手作りプレートをプレゼントしました。今年もあとわずかですが、これからも利用者の笑顔がたくさん見られるよう、スタッフ全員が笑顔を忘れない、くらし創造の家 朋（とも）でありたいと思っています。



あすなろレクリエーションのトランプは、楽しみの一つです。月末に優勝者を決めて「今月優勝の人は景品があります。」と皆さんに宣言します。パパ抜き、七並べに参加。途中1位だったOさんに「このままだと優勝だよ。」と伝えると「ほんと？」とにっこり、とてもいい笑顔でした。

そして月末、やはりトップは変わらずO

あすなろ 小規模多機能型居宅介護

さん。1位となり、金色のくす球を割り、景品をもち、笑顔でピースサインの写真撮影をしました。景品のドロップを早速、皆さんにおすそわけ。「来月は私も頑張るわ。負けへんで。」と口々に皆さんが言いました。新しい年も皆さんとともに楽しい時間を過ごしたいと思います。

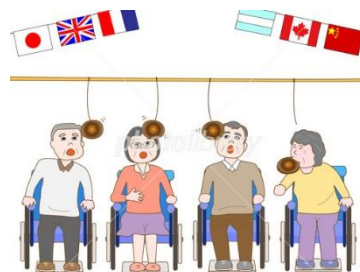


くらし創造の家 朋（とも） 生活介護

10月30日に2階の小規模多機能型居宅介護と合同で恒例の運動会が行われました。

当日はハロウィンで、支援員は各々着ぐるみを着て、仮装をしての運動会参加です。選手宣誓では利用者のMさんが、「ずるをしないで正々堂々とスポーツマンシップにのっとり闘います。」と堂々の選手宣誓でした。いざ、競技が始まると2階の利用者さんも生活介護の利用者さんも一生懸命で、Sさんも必死にパン食い競争に参加していました。その姿を見たKさんも「Sさんががんばってるから、僕もがんばらな。」と奮起し、借り物競争、綱引きなどにとっても積極的に参加していました。でも、Sさんはとてもがんば

った所までは良かったのですが、さっさと一人でゲットしたあんパンを美味しそうに食べていました。なかでも、綱引きの時に、Tさんは「ズルしたあかんでえ。」真剣そのものでした。皆さんやっぱり勝ち負けにはこだわり、負けず嫌いなようです。いつも陽気なFさんは、賑やかさに嬉しかったのか、多弁でした。大盛り上がりそのまま運動会は終わり、今回は2階の小規模多機能チームの勝利という結果になりましたが、競技が終わった後の皆さんの表情は清々しいものでした。来年はリベンジするぞ!!



訪問介護

生活援助に伺っているTさん宅。一緒に行うベットメイクでは「これをしてもらわずに帰られると困ります。」と言います。かつてパリッとしたキャリアウーマンであっただろうTさんの後ろについて、寝室へ向かいます。「あなたはベットの向こう側へ行っていただいて、一緒にパタパタしてください。」2人で掛け布団の左右を持って、ヨレをなおすために、上下

にパタパタします。それを縦三つ折にし、更に真ん中から半分にするのが定番。そして、目の高さくらいにふくれあがった掛け布団に、Tさんがダイブして整えます。「結構、わたし、これが好きなんですよ。」と言いながら、ふわふわの布団に倒れこんで満足そうなTさん。シューッと布団は小さくなりますが、なぜかいつも心がほこほここと暖かくなります。



あすなる地域交流センター2号館の催し

アルゼンチンタンゴ

「タンゴ・ガルーファによる演奏会」



11月16日(金)、あすなる2号館で「アルゼンチンタンゴ・コンサート」を開催しました。

2号館でのコンサートは年に2回のペースで、今回で3回目になります。2号館の2階は校倉づくりの天井で、音響効果が抜群と演奏家の皆様が口をそろえて絶賛されます。

ところで、このコンサートですが、1回目は2号館の「こけら落とし」と題して「井上真実さんのしの笛」、2回目は「菅尾玲子さんのシャンソン」でした。

会場が30席限定である事や、家から徒歩圏内で、(超)一流の演奏家による生演奏が聞けるということで、チケットは毎回すぐに完売です。



2号館の催しには、小規模多機能型居宅介護あすなるを利用している方も希望があれば参加でき、今回は3人の方が参加し、2階コンサート会場へは螺旋階段で昇降しますので、お一人の方はスタッフにおんぶしていただきました。キーボードと歌声、バイオリンのタンゴ特有の弦の響き、バンドネオンのリズム等、間近で聞く生演奏は迫力満点でした。

演奏会終了後は、恒例のコーヒー等お飲物サービスコーナーをご利用いただき、ゆっくりと余韻に浸りながらの歓談タイム。皆様それぞれの思いの中、お話は尽きませんでした。

音楽は心の糧と言いますが、ここ日吉台の地から小規模ながらの良質の音楽を発信していきたいと思えます。



サービス提供実績報告 (2018年9月～11月)

◇社会福祉法人

《訪問介護》

利用件数	2,711 件
利用時間	1,909.03 時間
生活援助	875.85 時間
身体介護	1,033.18 時間

《介護予防訪問介護》

利用件数	888 件
利用時間	816.75 時間

《ケアワーカー派遣サービス》

利用件数	409 件
利用時間	407.5 時間
家事援助	276.5 時間
身辺ケア	78.0 時間
社会的援助	53.0 時間

《障害福祉・居宅介護》

利用件数	2,488 件
利用時間	2,615.75 時間
家事援助	1,294.75 時間
身体介護	1,070.50 時間
通院介助	250.50 時間

《重度訪問介護》

利用件数	134 件
利用時間	249.0 時間

《同行援護》

利用件数	402 件
利用時間	1072.25 時間

《移動支援》

利用件数	597 件
利用時間	1,839.5 時間

◇特定非営利活動法人

《福祉移送サービス》

利用件数	66 件
利用時間	3,105 分
利用距離	956 km



物品販売にご協力ください



□コーヒー（豆、挽）

焙煎工房タイムリーの特別焙煎豆

1 kg : 1,700 円 500 g : 850 円

□泉州産塩わかめ

100%大阪湾泉州ワカメを使用した
こだわりのワカメです。

塩わかめ 130 g : 300 円

□信州りんご 長野県の岩下りりんご園

シナノゴールド・サンふじ

3L 5kg : 4,500 円

りんごジュース

1箱6本入り 5,100 円



□島原手延べ素麺 眉山の糸

長崎県島原市の白山製麺製です。

1 kg～5 kg : 1,200 円～5,300 円

*高槻市、茨木市、島本町、枚方市は
送料無料(その他の地域は実費)

□おとひめこんぶ

南北海道榎法華村の黒口浜一帯で
育成された真昆布一年物です。

1袋 : 500 円



年末年始のお休みのお知らせ



- ◇居宅介護支援 12月30日(日)～1月3日(木)
- ◇通所介護 12月30日(日)～1月2日(水)
- ◇生活介護 12月31日(月)～1月3日(木)
- ◇事務所 12月29日(土)～1月3日(木)



※訪問介護、小規模多機能型居宅介護、居宅介護、移動支援、
ケアワーカー派遣サービスは変わりなく活動しています。

ご協力に感謝します 2018年9月21日～12月15日 (敬称略・順不同)

<社会福祉法人>

◇寄附金 2018年度累計 965,000円

牧口 明、村上利男、高槻ライフケア協会後援会、寺田智治、深尾政子、日置鉦太郎、土井浩一、小谷啓二。

<NPO法人>

◇後援会費 2018年度累計 238,000円

吉田みい子。

◇寄附金 2018年度累計 32,000円



【編集後記】

あと数日で平成最後の年末ですね。育児
休暇より復帰して2年。「お姉ちゃんの顔み
んとあかんわ」、風邪をひいた時は「大丈
夫?」、時には「ぼっちゃん元気?」と家族

の事まで心配してくださる利用者の皆さん。
そんな皆さんと仲間と共に新しい年も頑張
っていこうと思います。どうぞ皆様、よいお年
をお迎え下さい。 (A)

社会福祉法人高槻ライフケア協会 特定非営利活動法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町 5-7

〒569-0802 高槻市北園町 4-19

TEL (072) 683-4945

TEL (072) 682-4119